

第2回 直売所チャレンジ・オンラインフォーラム

テーマ 直売所の世代交代の進め方 ～新しいお客様・出荷者を迎えるために～

- 農産物直売所は消費者と直接向き合うことを通じて、常に時代に応じた新たな商品やサービスを生み出してきました。また、近年の自然災害やコロナ禍においては、直売所が各地の食や暮らしを支える拠点となり、地域の中で存在感を発揮しています。
- 全国農産物直売ネットワークでは、**全国農林水産物直売サミット**(延べ18回開催)を通じて、全国の直売所間の連携と情報共有を進めていますが、直売所の皆様が安心して集合できるまでの間は、オンライン型フォーラムを企画してまいります。
- このフォーラムでは毎回テーマを設定し、全国の直売所の新たな挑戦、課題に対応した実践事例を共有することを通じ、今後の事業展開や課題解決のヒントをつかんでもらう事をねらいとしています。いつでも、どこでも、だれでもつながるオンライン会議の特性を活かし、直売所間の連携を進めてまいります。

- 日時 2021年 10月27日(水)14:00～16:00
- 実施方法 オンライン会議システム zoom(ズーム)を使用
- 参加費 5,000円(1回線につき) 同じ端末で複数名様の参加も可能です。
～全国農産物直売ネットワークの会員は無料。この機会に是非ご入会下さい～



新顔野菜もPOPも豊富な「道の駅ましこ」



なにわの伝統野菜と言えば「道の駅かなん」



ワンストップで買い物ができる「あぐりん村」

オンラインフォーラムへの参加方法について

- ①パソコンやスマートフォンを通じてオンラインで参加できるWEB会議システム「zoom」(ズーム)を利用します。
- ②参加申込書または申込フォームに必要事項を記入し、メール・FAX・申込フォームにてお申込み下さい。
- ③参加申込の締切は10月22日(金)とさせていただきます。申込受付後、事務局より確認メールおよび参加費の振込先をご連絡しますので、各自お手続き下さい。
- ④参加費の入金確認後、当日アクセスして頂くオンライン会議のURLアドレスをメールでお知らせします。
- ⑤接続動作や音声受信に不安がある方は、事前に接続テスト日を設けますので、ご利用下さい。

お問い合わせ先 **全国農産物直売ネットワーク**

(一財)都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう) 内 (土日祝日をのぞく9:30～17:45)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45 神田金子ビル5階

電話03-4335-1984 FAX03-5256-5211 mail:chokubai@kouryu.or.jp



参加申込フォームは右のURLもしくはQRコードからアクセスできます <https://forms.gle/Fy8GUZwCH61ZQpDy5>

主催 全国農産物直売ネットワーク
(一財)都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう)

第2回 直売所チャレンジ・オンラインフォーラム プログラム

テーマ 直売所の世代交代の進め方 ～新しいお客様・出荷者を迎えるために～

■日時 2021年10月27日(水) 14:00～16:00
■開催方法 オンライン会議システム zoom(ズーム) ウェビナー方式

14:00 開会

14:10 事例紹介 ～説明15分+質疑応答10分 × 3店からご紹介頂きます～

①ましこカンパニーが進める、若い顧客を意識した店づくりと商品開発
道の駅ましこ ましこのマルシェ 店長 保園 優子 (栃木県益子町)

②開業15年目。地域農業を守る、新たな販売戦略と店づくり
あぐりん村 支配人 野々山 雄士 (愛知県長久手市)

③伝統野菜を活かした特色づくりと次世代への継承
道の駅かなん 駅長 石原 佑也 (大阪府河南町)

15:20 意見交換 (30分) 「直売所の世代交代の進め方」
・コーディネーター 全国農産物直売ネットワーク 副代表 山口 成美
おおむら夢ファームシュシュ 代表 (長崎県大村市)

15:50 話題提供 「食品衛生法の改正と直売所に求められる対応」
～「農産物直売所の食品衛生管理に関するアンケート」(10月実施)から見た今後の対応～

16:00 閉会 ※すべて敬称略。当日の内容に変更が生じた場合はご了承下さい。

今回は、次の直売所を率いる3人の若いリーダーから、世代交代に向けた取り組みや今の挑戦を伺います

道の駅ましこ (栃木県益子町) 平成28年開業

●運営者: (株) ましこカンパニー ●出荷者: 約150名 ●売場面積: 約600㎡ ●年間売上: 約2億
●里山と田園が広がる農村部に直売所・レストラン・加工所を直営する道の駅。生産者との会合を毎月行い、商品の充実を図る。また、若い顧客に向けた惣菜やスイーツなど、自社商品の製造も活発。売り場ではPOPによる新顔野菜などのPRを進め、トマトなど不足する農産物の自社生産も開始する。今年はヤギの駅長も配置。

あぐりん村 (愛知県長久手市) 平成19年開業

●運営者: (株) 長久手温泉 アグリ事業部 ●出荷者: 約260名 ●売場面積: 約350㎡ ●年間売上: 約6.6億
●愛知万博跡地の人口増が進む地域に温泉施設に隣接して開業し15年目。2021年12月にはリニューアルオープンの予定。スタッフは野菜ソムリエの資格を取り、農産物とともに食品雑貨も配置するなど顧客の利便性を高める工夫を進める。自ら作る弁当・惣菜も人気。ふるさとの味や技術を伝承する食育活動にも力を入れる。

道の駅かなん (大阪府河南町) 平成16年開業

●運営者: 農事組合法人かなん ●出荷者: 約130名 ●売場面積: 約200㎡ ●年間売上: 約3.1億
●大阪のなにわの伝統野菜の復活地として、これらの生産・販売・加工・伝承に力を入れてきた。飲食施設は持たず、弁当・菓子・惣菜の製造に力を入れ、加工室は年間360日稼働する。近くの学校など施設給食への食材納入も積極的に進め、食育授業や地場野菜を用いた料理教室などの開講も行っている。